

平成30年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1. 基本情報

1002

施設名	伊丹市立音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）		
施設の設置目的	音楽を中心とした文化事業の振興を図り、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	120,000	上期の実績値 53,390

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数(人)		121,875	117,624	118,048	109,339	108,006	53,390
貸し室稼働率(%)		60	72	72	66	73	72	
延べ事業開催回数(回)		22	151	143	140	152	79	
延べ事業参加者数(人)		4,353	15,744	10,803	10,511	10,243	4,206	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)計画	平成30年度(2018)実績(上期)	
収入	使用料収入	23,778	23,472	24,065	11,919	
	事業収入	12,418	10,150	7,207	4,327	
	その他	2,208	0	2,565	0	
	指定管理委託料	79,603	77,064	84,516	40,630	
	①合計	118,007	110,686	118,353	56,876	
支出	維持管理	光熱水費	13,878	12,555	12,179	5,702
		清掃等委託料	25,763	26,434	27,381	8,255
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	3,259	2,125	2,000	392
	運営	人件費	40,845	40,875	50,189	18,113
		事業等経費	26,803	23,590	22,757	10,253
		その他	2,098	1,102	1,388	488
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	112,646	106,681	115,894	43,203		
純収支(①-②)		5,361	4,005	2,459	13,673	

		H25	H26	H27	H28	H29	H30(上期)
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>	市の収入	2,967	3,805	3,668	3,761	3,657	1,098
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	73,878	102,740	77,000	91,175	95,552	40,831
	(内、指定管理委託料)	69,357	69,379	71,694	79,603	77,064	40,630
	実質経費(歳出-歳入)	70,911	98,935	73,332	87,414	91,895	39,733

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

評価項目	(具体的内容)	評価結果					
		指定管理者自己評価		施設担当課評価			
		評価	特記事項	評価	担当課所見		
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的を実施し、常に清潔に保たれているか。	A	開館から約27年が経過し経年劣化は否めないが、利用者の利便性と安全、費用対効果を考慮し、市とも連携して迅速に対応した。また美観維持のため丁寧な清掃のほか、節電にも心掛けている。	A	建物の構造上、利用者には不便な要因が多い中、利便性の向上と安全面への配慮に努めている。節電等についても社会事情や環境に配慮し、実施されている。	
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B				
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B				
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B				
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	有益な研修には積極的に参加し、スキルアップと交流拡大を図っている。また、防火管理有資格者を2名とし、態勢を強化した。	B	職員の外部研修で得られてものが、内部研修にも効果的に活かされ、情報の共有やスキルアップも図られている。	
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B				
	防犯・防災対策への取組状況	防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	消防避難訓練を上下期各1回ずつ、年2回実施している。	B	仕様書等に基づき、適正に実施されている。	
		緊急時の連絡体制は整っているか。	A				
	運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービソ向上や利用者増へ向けた取組みを行っているか。	B	来館者からのアンケートやご意見について、改善可能な件は速やかな対応を行った。またトラブル時には財団本部、市担当課とも連携して迅速な対応を図り、再発防止対策も心掛けた。	B	利用者の意見を反映した事業運営に向け努力している。又、今後もアンケートに積極的に取り組んでいただき、利用者ニーズの把握に努めていただきたい。
			利用者の意見を施設運営に反映する仕組を確立しているか。	B			
苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。			B				
特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。			B				
事業等の実施状況		指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	魅力ある主催事業実施のほか、育成団体の事務局運営を通して、市民の音楽活動を支援している。	B	地域に根ざした活動支援等に積極的に取り組んでいる。	
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B				
個人情報保護・情報公開への取組み		各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	情報セキュリティ運用基準を遵守し、情報提供ではホームページやメールマガジン、SNS等を用いて幅広い層に情報発信した。	B	SNS等を利用して、事業の情報提供や施設の知名度向上に取り組んでいる。	
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B				
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B				
収支の状況		収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	常に予算執行状況を把握し、計画的かつ適正に運営している。	B	収支計画に基づき適正に取り組まれている。	
	経理処理は、適切に行っているか。	B					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	市民オペラ等の特徴的な事業実施に併せて、交響楽団・吹奏楽・合唱等、市民ニーズの高い音楽事業の運営を行い、地域の吹奏楽や合唱等の団体に対して、活動支援を行うなど地域に根ざした事業展開にも力を入れている。施設、設備の老朽化が進行していることから、その状況を的確に把握し、計画的に修繕を行っていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年 4月 1日～平成30年 9月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の清掃は行き届き清潔に保たれていますか 「大変満足」「満足」87%	開館から27年が経過し各所に経年劣化が認められるが、計画的な修繕や美観・安全の維持に努め、利用者の利便性の向上に取り組んでまいります。
	職員の接遇態度はいかがでしたか 「大変満足」「満足」80%	お客様の目線に立った迅速・丁寧な接客、的確な情報提供を心掛け、より満足いただけるよう努めます。
419	施設を利用しての満足度はいかがですか 「大変満足」「満足」90%	現状に甘んじることなく、今後も利用者喜んでいただける施設、事業運営を目指します。
	トイレの場所が分かりにくい。また、トイレに入るとすぐに洋式か和式かが分かりにくい。	館内にトイレの案内貼紙を増やしたほか、トイレ内各個室に洋式か和式かの表示を行いました。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置